

# Mランドニュース Vol.168

## 丹波ささ山校 令和3年4月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569  
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹  
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

### 今月の言葉

「苦しんだ分だけ、  
その先の喜びが大きい」

株式会社タニサケ 松岡 浩会長著  
「乾いた雑巾を絞る」より

### あの日を忘れない

共育チーム 南勝 宏幸

二〇一一年三月十一日、東日本を中心に甚大な被害をもたらした、「東日本大震災」から今年で十年。

現在では、昔の風景とはいかないものの、被災した地域の復旧は、大きく進んでいるようです。

これまでに二万二千人を超える人々(震災関連死を含む)の尊い命が犠牲となり、十年経った今でも、四万人以上の方が避難生活を余儀なくされています。

しかし、これだけの出来事も時間が経過するにつれ、人々の記憶からは薄れてしまいうのも事実でしょう。

毎年この日、Mランドでは「決して忘れてはいけない。風化させてはいけない」という想いから、犠牲になられた方々のご冥福と、復興にご尽力されている方々に向け、ゲストの皆さんとともに、被災地に心を寄せています。

当時は免許取得の時期であり、全国の自動車教習所には、多くの学生さんたちが通われ、私たちも教習を

していたまさにその時、被災地では津波により教習中に多くの若者や職員が命を落とされました。



館内アナウンスに耳をかたむけて

私のところまで「命」を繋いでくれた両親に感謝し、当たり前前の日常に感謝する。このことに気付かせてもらったのが、「三月十一日」という日だと思っています。



今、あることを考えさせられました

震災後、復興ボランティアに参加し、同じ国の出来事とは思えない光景を目の当たりにした私には、ご縁ある人々に少しでもこの日を伝えていく責任があると思っています。

### Mランドの朝

「おはようございます！」と、「朝のボランティア活動」に参加されるゲストたちが、毎朝元気に集合されます。

三月は個人参加に加え、グループ参加も多く、元氣あふれるMランドならではの雰囲気でした。

単に掃除をするのではなく、各ボランティア活動に分かれて、自己紹介、掃除の手順や方法、道具の使い方の説明からはじまります。

実践されるゲストは「掃除」から、掃除の工夫、時間や資源の大切さ、自ら掃除をすることで、普段掃除をされている方への、感謝の気持ちが芽生えます。

これが「掃除に学ぶ」ということでしょう。



タイル磨きは自分と向き合う時間です

にぎやかなゲストも掃除が始まると、目の前の汚れに

向き合い、集中して取り組まれます。



施設への愛着心も芽生えますね

ロコミで一番人気の「トイレ掃除に学ぶ会」は、自分の手で便器を磨くことによって、自身の感性が大きく刺激されるようです。特に初めて参加されるゲストは、目を丸くして説明を聞かれます。



「え〜！」目からウロコです

早朝からボランティア活動の準備に追われるスタッフも、ゲストの達成感あふれる笑顔に、ずいぶん元気をいただいているのです。

このように、三月のMランドもゲストの笑顔と、近づく春の陽気で、清々しい朝を迎えていました。さて、四月はどんな朝を迎えるのか。

### 皆さんのことが好き!

三月三日の「雑まつり」と十四日の「ホワイトデー」。教習をがんばっておられるゲストの皆さんに、インスタクターから、思いを込めた手書きのメッセージを添えて、心ばかりのお菓子をプレゼントしました。

思いもよらないことで、ゲストは「えっ!」という表情。わけをお伝えすると、さわやかな笑顔を見せてくださいました。



「喜んでいただければ幸いです」スタッフより

### 【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレ掃除をしましょう。

4/11(日) 八上小学校 東トイレ  
AM8:00~9:00 担当:前川

4/25(日) 篠山中学校 運動場トイレ  
AM8:00~9:00 担当:中野

※ご参加いただける方は井本までご連絡ください。

## おいでください「丹波篠山」へ



この街並みは弊社から西に位置する、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている、「河原町妻入商家群」です。

間口が狭く、奥行の長い造りをした、「妻入り」が特徴の商家が建ち並ぶ商店街です。

篠山城築城当時、最初につくられた藩政時代の面影が、今も色濃く残る商家群がつづき、別世界を感じさせる雰囲気を楽しめます。

ここに昨年より、「無電柱化工事」が進み、電柱がなくなり、下段の写真のように空も道路も広くなり、当時の景観をうかがうことができます。

丹波篠山ならではの風景を、是非ご覧いただきたいと思えます。



## 新入社員紹介

インストラクター 鹿嶽 加奈



皆さま、はじめまして。

昨年九月一日から、Mランド丹波さき山校で、インストラクターとして勤務させていただきます。

インストラクター歴は、前の自動車教習所を合わせて九年です。

Mランドに入社間もない頃、他のインストラクターか

ら「インストラクターの資格はあるのですか？」と、たずねられました。

私はその質問の意図がわからず、思いもよらない質問に、とっさに返事することができませんでした。

言われた当初は全否定されたような悔しき、悲しき、辛い気持ちがかみ上げてきました。

その後、「インストラクターの資格はあるのですか？」のことばの中に、どんな意味があるのかを自分なりに考えてみました。

従前の教習所での教習生との向き合い方を振り返り、Mランドのインストラクターとして、どのようにゲストと向き合うのかを考える、良いきっかけをいただいたと、今では思えるようになりました。

三月で入社してから半年が経過しました。

オレンジ講習（高齢者講習）も担当させていただくようになり、少しはお客さまのお役に立てる喜びも感じています。

教習指導員としての資格の重み。Mランドのインストラクターとして、「来てよかった」

とお客さまに言っていただけ、教習所づくりの一翼を担わせていただきたいと思っております。

## 社長のつぶやき

代表取締役社長

井階 正義

誰もいない館内のすべての窓を開ける。ここから私の一日が始まります。

お客さまの応対業務に差し支えない限り、Mランド周辺のゴミ拾いが、私の日課です。

小河二郎前会長が生前、「長たるもの、毎日会社の隅々、周辺がどうなっているか、見てまわりなさい」と、教えてくださったのが、昨日のことのようです。

いつもゴミ拾いをしているからでしょうか、登校する学生さんに顔を覚えていただけ、元気なあいさつを交わせるようになり、近隣住民の皆さまから、「ごころうさまですー」、「ありがどうございませー」と声をかけていただくこともあります。

勢いよく私の横を通過する大きなトラックがいる中、

速度を落として通過するトラックドライバーの「思いやり」に感謝するとともに、私たちMランドが、「地域と地球のドライバー」を目指す自動車教習所でありたいと思いを熱くします。

朝礼である社員が「目の前のゴミを拾える人間になる」と呼びかければ、またある社員は別の日、「ゴミを拾える人を増やそう」と呼びかけ、おなじ志を持つ社員が職場にいたことが、私の強いちからとなっています。

新型コロナウイルス発生から一年以上経った今、まだまだ先の見えない状況が続きますが、掃除をしているゲストや社員のようすを見てみると、希望をも感じます。

これからも皆さまとともに明るい社会へと、歩んでまいりたいと思えます。



明るい未来のため、「今」できること

## 今月のありがとうカード

### Mランドの皆さま

13日間という短い期間でしたが、とてもお世話になりました。皆様の献身的なサポートのおかげで何とか卒業まで辿り着くことができ、とても満足しております。まだまだドライバーとして未熟者ですが、Mランドで学んだことを十分に発揮できるような「良いドライバーになります!!」Mランドに来てよかった!! 本当にありがとうございました!!!

上田 龍之輔 様

## 編集後記

自信のある人、そうでない人。明るい人、そうでない人。覚えるのが早い人、そうでない人。話すのが平気な人、そうでない人。この春もMランドにお越しのゲストはさまざま、いろんな人がいて当たり前。でも、それでみんな「マル」です。

これからも、若者が希望をもち社会に臨むことができる、自動車教習所でありたいと思えます。(徹)